

1. 植込みデバイスの種類

(a) 心臓ペースメーカー

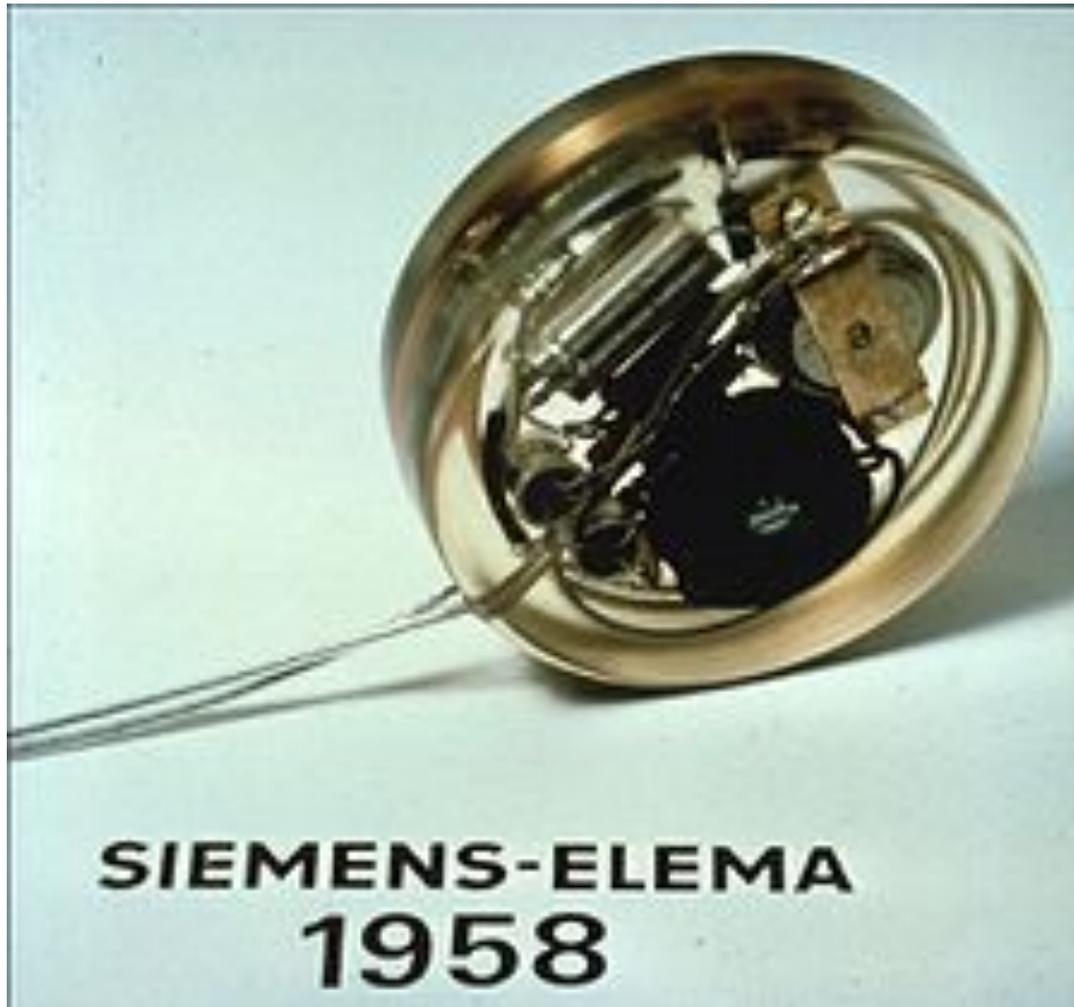
(b) 植込み型除細動器

(c) 両心室ペースメーカー

(d) 植込み型ホルター心電図

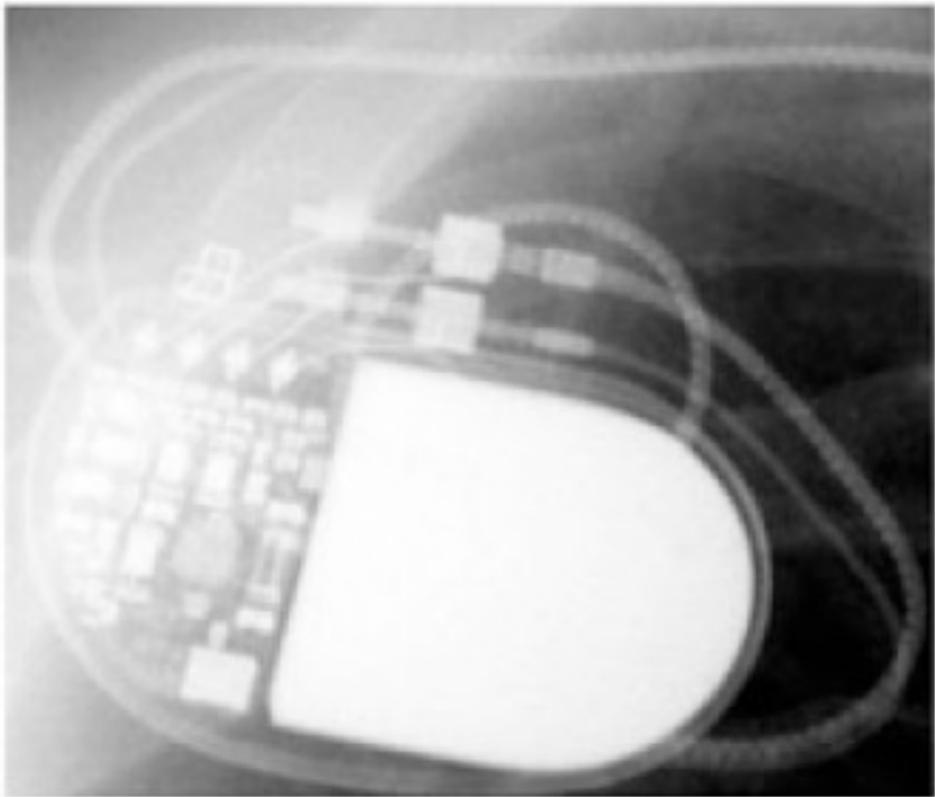
(e) 植込み型神経刺激装置

(a) 心臓ペースメーカー

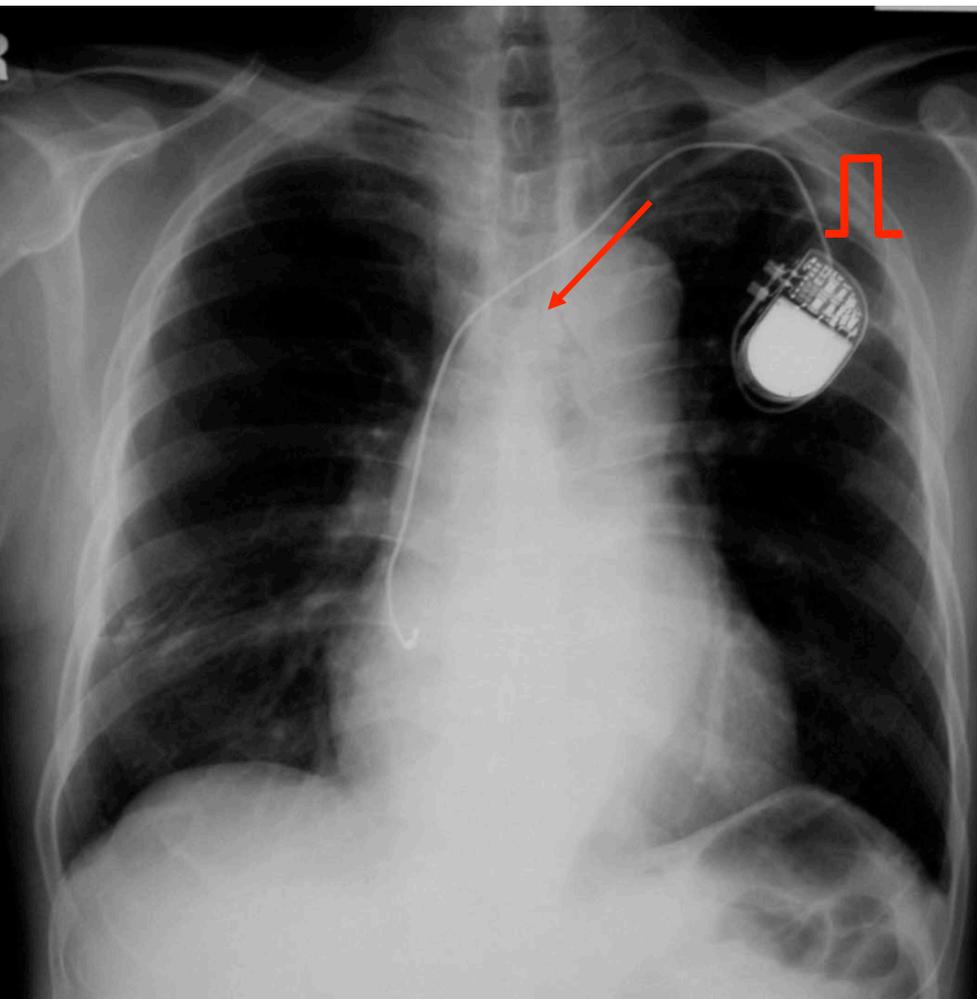


(a) 心臓ペースメーカー

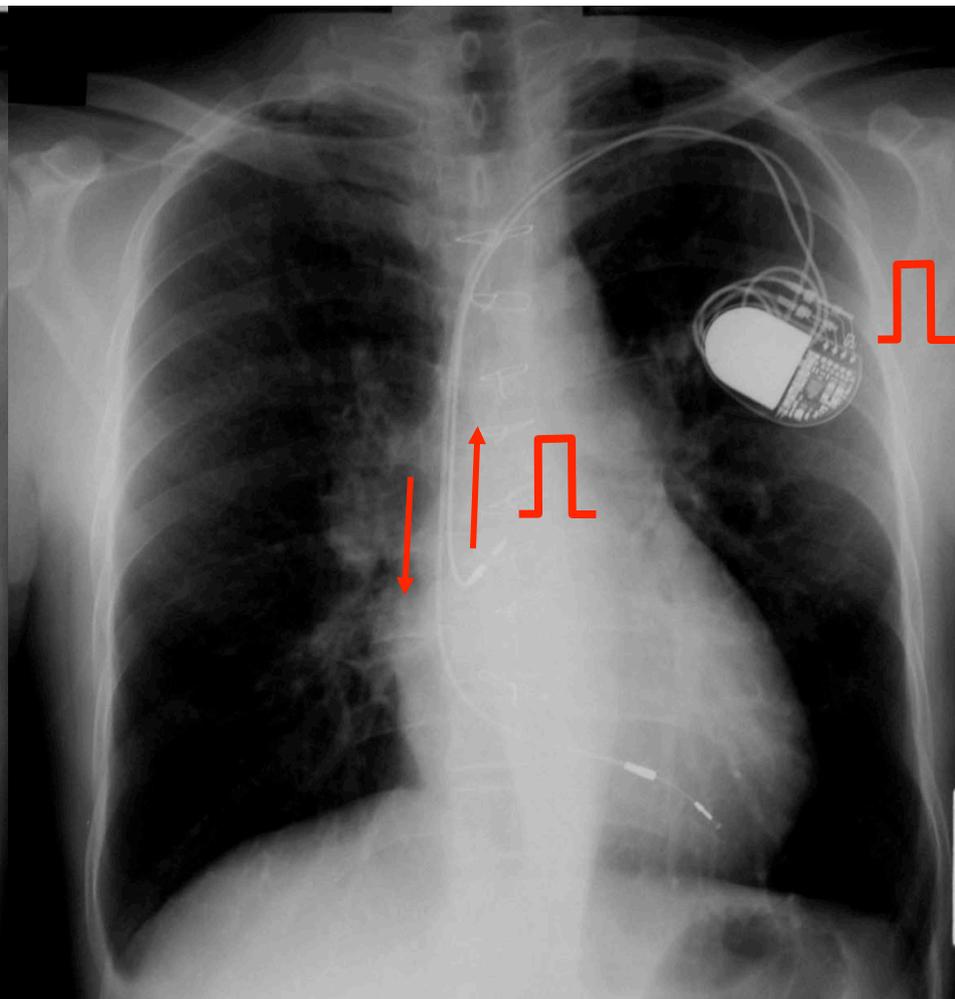


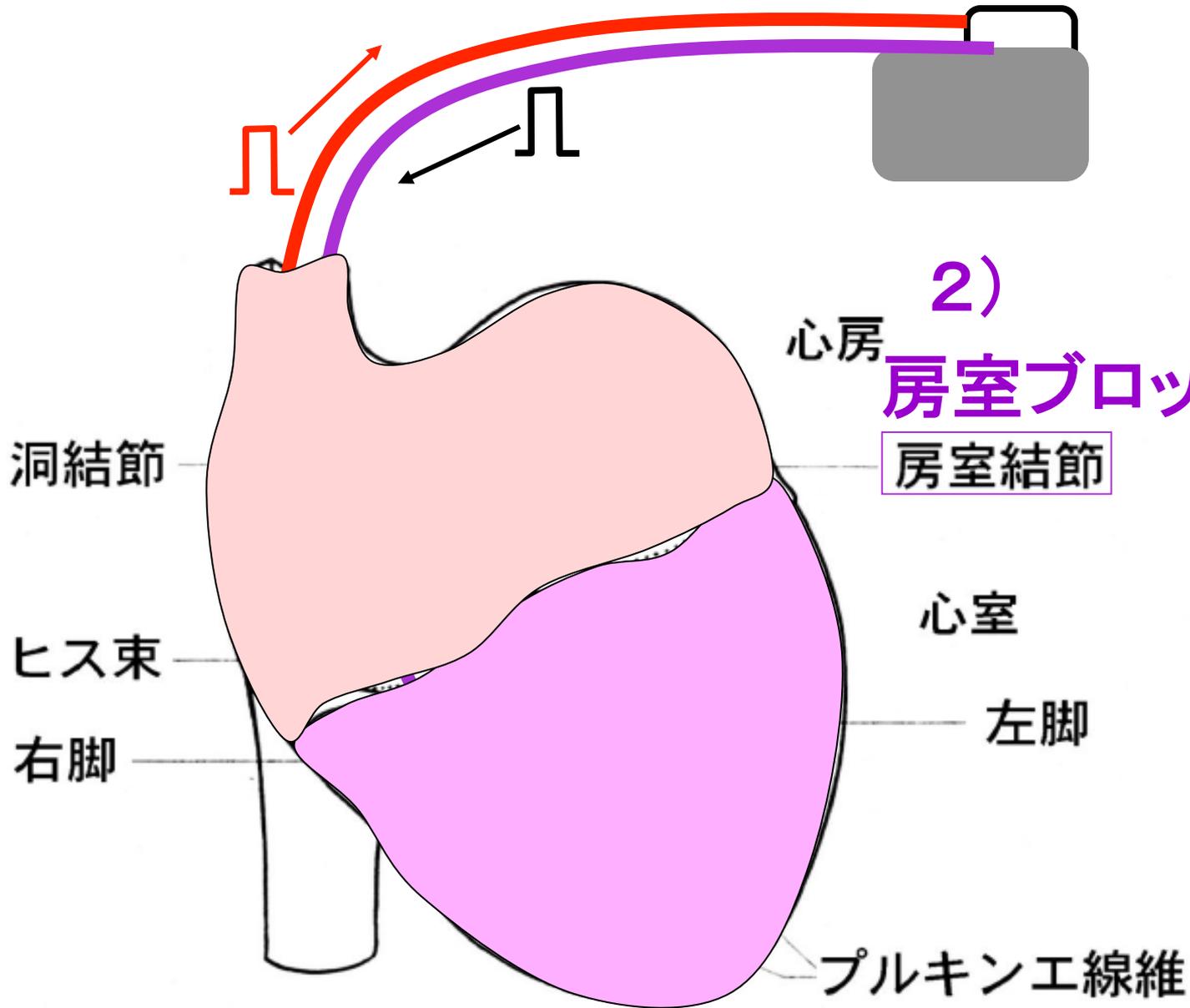


AAI モード



DDD モード





2)

房室ブロック

房室結節

心房

心室

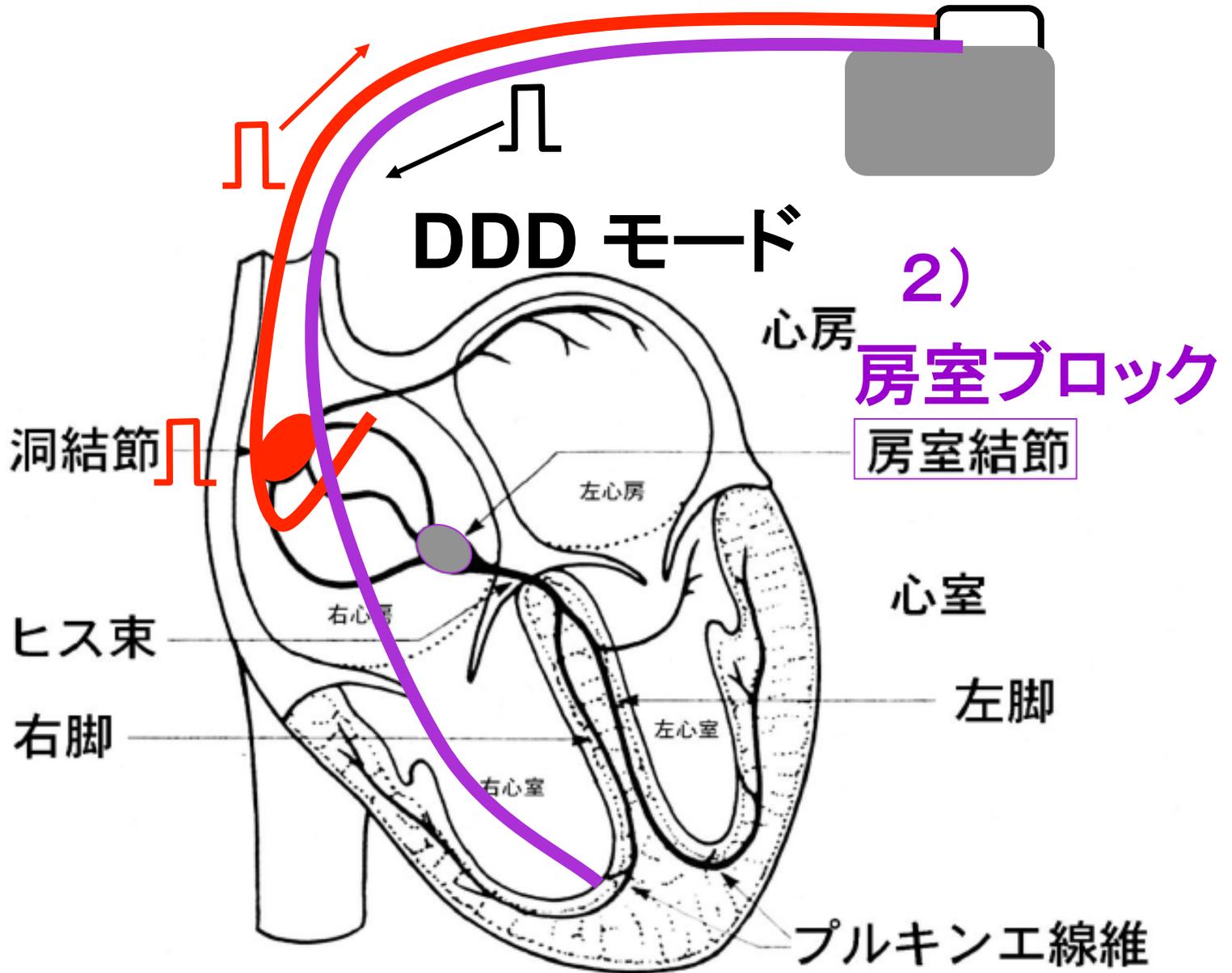
左脚

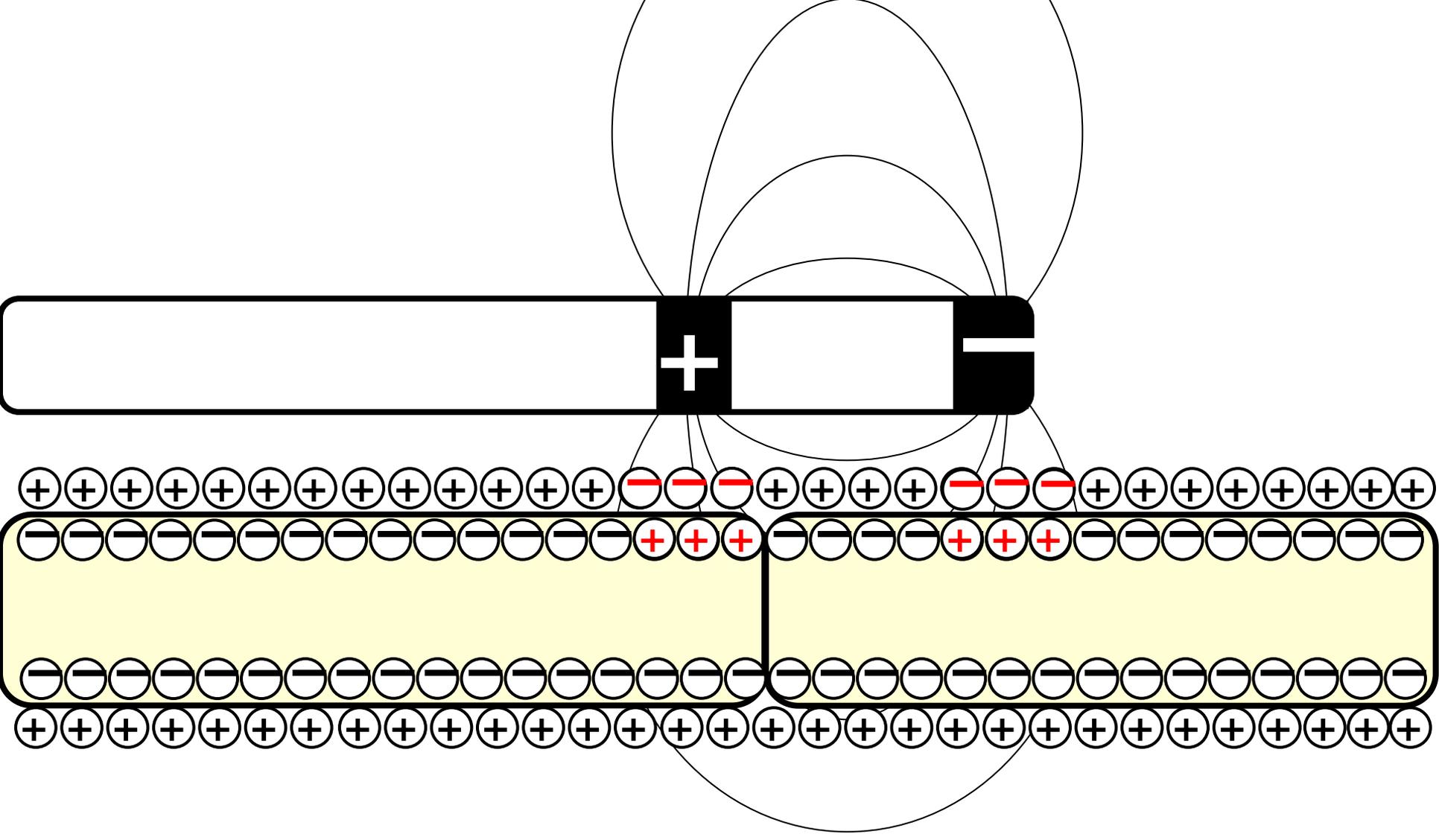
プルキンエ線維

洞結節

ヒス束

右脚





(b) 植込み型除細動器



(d) 植込み型ホルター心電計



SCIENCEphotoLIBRARY

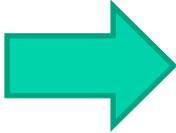
機能最適化

健常臓器の模倣

→ 症状・予後を改善する機能

→ 健常臓器には無い機能

テレメトリー機能付きペースメーカー or 植込み型除細動器

 治療のためのデバイスから
遠隔医療のためのデバイスへ

ホームモニタリング機能を搭載した心臓植込み型デバイスを植込んだ患者が、専用中継器を自宅に設置することで、その患者の心内心電図などの詳細な情報や植込み型デバイスのデータが、毎日全自動で同社の国内専用サーバーを経由し、サービスセンターに蓄積・管理される。医師は専用のインターネットサイトにログインすることでこれらのデータをいつでも確認することができ、継続的に患者の心臓の状態やデバイスの状態を遠隔でモニタリングすることができる。またこのシステムによって医師が確認すべき情報が報告された場合には、病院のパソコンや担当医の携帯電話にメールで知らせる仕組みになっている。

